



SINCE 2005

Vol.223
monthly issue

水無社通信

November 2023



特集 水無神社のお祭り

水無神社のお祭りレポート / 丹羽淳一



水無神社のお祭りレポート

レポーター／丹羽淳一

三十代・女性

四月から笛を始めたばかりですが、やまに上がらせて貰って吹きました。レジェンドばかりの中で下手なのに「エアーでいいで上がれや。」と言って貰って嬉しかったです。子供も大人も皆んな凄く楽しそうに笑顔で、お祭りの雰囲気本当に感激しました。

こども園・女の子

お母さんと一緒に、綱ひっぱったよ。おもしろかった!

総代表 粥川勝志さん

本年度は株式会社中島工務店 中島紀子様より上軸、下軸が寄贈されました。それについて長年の希望でありました軸の倉庫もみなさまのご協力・寄付のおかげをもちまして出来上がりました。本当にありがとうございます。今年は4年ぶりに祭典が盛大に出来た事もみなさまのおかげです。氏子代表として水無神社の祭典が未長く続く事を願っています。これからもどうか協力をお願いします。

四年ぶりの開催となった秋の水無神社のお祭りに消防の警備として参加してきた。見所はなんと「軸やまき」を年男たちが曳きあげる『軸曳き(やまひき)』だろう。軸につけた二本の綱をぶつけ、転び、巻き合

いながら進んでいく様は「けんか祭り」などと呼ばれる事もある。三百五十年程前に創建されたと言われる総社「水無神社」であるが、文献によると天保四年に野鼠の大量発生と秋の台風による飢饉が起こり、山の神の怒りを鎮めるために大祭礼を行なった事が祭りのきっかけのようだ。昔から、軸を引くのは男のみとされてきた背景には「山神」女神と言った考えがあったのだろうか。近年では女性や子供も軸曳きに参加しており、時代の変化を感じる。久しぶりの開催に加え、今年から(株)中島工務店の寄贈により軸が新しくなっている事にも注目が集まった。

が多くが見られる。心なしか、からくり人形の禰宜も嬉しそうだ。最初の軸が登り始めた時は、子供たちも一緒に軸を曳き、和やかなムードだ。参道の途中から年男たちが軸を曳くようになってから祭りは徐々にその真の姿を現し始める。綱は徐々に荒れ始め、二本の綱はやがて荒れ狂う大蛇のように上下左右に暴れ、巻きつき始める。年男たちの胴体目掛け

て巻きついてくる二本の綱に気を取られると、地を這う二本の綱に足を取られる。祭りのお囃子と注がれる御神酒と暴れる綱によって、集団はやがて一つの大きな生き物になっていくようだ。軸が坂を登りきった時は祭り会場中が歓声に包まれた。祭りが終わってみれば、分かっているだけで三名の怪我人が出た。「けんか祭り」の名前は伊達では無いようだ。怪我人が出るたびに即座に対応していた非番の消防署員、加子母の消防団員、医療関係者、毛布を貸してくれた加子母デイサービス

ス、参加者や参列者の連携で素早い処置が行われた。人の繋がりを感じ祭りであった。参加者の声を聞いたのでここにまとめる。質問

と出会えて嬉しい。(二十代男性) ○今年は大人しいな!(八十代男性)

久しぶりの開催だがどうか

○祭りが無いのは残念だし、集まるのは大変だけど、いざ始まるとやってみると思っ(四十代男性)

山車が新しくなったことについて

○奥の方で笛吹いているから、乗っちゃうと分からんね!ま、楽しませてもらうわ!(40代男性)

○こういった機会でもないと思えないからやっぱいいね(四十代女性)

○今までの山車は乗ると独特のたわみがあつてそれが笛吹くのによつと良く乗り心地良かったけど、今度の新しい出車は固いんじゃないかな?それだけ心配だね。(四十代男性)

○楽しい。屋台がたくさんあつて嬉しい。喉が渇くからもち飲み物屋さん欲しい。(小学生女子)

○今まではいつ崩れるかドキドキして乗ってたけど、新しいのは安心して乗れそう。(四十代男性)

○私んたはいつお迎え来るか分からんでねえ。また見れて嬉しいわ。(八十代女性)

○これが新しい山車か。ええな。今年の当番はどや?(八十代男性)(三十代女性)

○こんだけしか人がおらんか!。前はもつと人多かつたんやけどなあ。こりや来年から全員で曳かなかんわ!(五十代男性)

○ちょっと中広くなったような??(四十代女性)

○北海道からこのために来ました。みんな

編集後記

編集長 / 秦雅文

僕は歌舞伎公演で三つ目の演目『俊寛』に出演しますが、「演劇的な作品なため俊寛を演じる役者によって作品の印象が変わってくるのも面白いところ」という尾上右近さんの一節を読んで少し責任を感じました。

この俊寛という演目は三百年以上も続く素晴らしい芝居です。

謀反で島流しにされ老いたように見えてもまだ三十代。淋しさ、赦免の喜び、必死の嘆願、そして絶望。心のひだを描いています。

船の到着から最後に船を見送るシーンはデフォルメされた大胆な構図で、最後は役者の目線を通して遠ざかっていく船を観客の想像力を借り、孤島に残された悲しさを表現しなくてははいけません。

大歌舞伎の役者といえども、大道具や小道具を自分で作ってはいないでしょうから、全てを作っている私たちがそこは利があるかもしれない。

芝居をしている間、意識は歴史の舞台、大歌舞伎の世界、岐阜の地歌舞伎としてパリへ行った経験など、広く飛び回ります。

つい最近、役者の一人が仕事の移動中、飛行機の機内から鬼界ヶ島が見えます!と連絡してきた。まさに地球を飛び回っている。

小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介!
食には文化があらわれる。



大学かぼちゃ

10月1日明治座で加子母文化祭が4年ぶりに開かれました。お昼はほう葉すし、弁当など頂きました。漬物など回って来てコロナに気をつけながらいただきました。小和知のNさんが大学かぼちゃ料理を教えて頂きました。

皆さんと輪になって美味しい物食べながら、料理の話が出来て幸せです。31日はハロウィン。かぼちゃを食べましょう。大学かぼちゃ絶品です。



材料

かぼちゃ 200g
砂糖 大さじ2
水 大さじ1
みりん 大さじ1
醤油 大さじ1/2
ごま

作り方

- ①かぼちゃを乱切りにして、レンジにかける。
- ②フライパンに多めの油でかぼちゃを焼く。
- ③かぼちゃを皿に借りに置く
- ④砂糖、水、醤油、みりんを煮立て、かぼちゃを入れてからめる。ごまをかける。

絵手紙: 加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会 会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信
2023年10月25日発行 No.223

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合!



中 1000年の森



森のことを学んだワークショップ
小 ~木匠塾のお兄さん、お姉さんと~



こ 楽しかった運動会!

中 学校 ▶ 10月3日(火)に1年生は加子母優良材生産クラブ、加子母総合事務所の支援のもと、山守 内木哲朗さんを講師にお迎えし「木曾ヒノキ備林」見学に行ってきました。資料や文章での机上の学習はしてきましたが、いよいよ本物の「二代目大ヒノキ」や「合体木」「式年遷宮斧入れ式跡」との対面です。森の中に入ると、心が落ち着く、何とも言えない気持ちのよさを感じました。特別な空気の中で哲朗さんから「この森が本当に大勢の人の手によって1300年もの間育てられてきたこと、その森で大切に育てられたヒノキが伊勢神宮や名古屋城、姫路城の重要な部分に使われていること」を学びました。ある生徒の感想には「日本を代表する神宮やお城の修復には、私たちの住む加子母の森から採れる木がどうしても必要なんだ。という話を聞いてとてもうれしく、自慢したい気持ちになりました。」と書かれていました。秋晴れの下、森の中を歩き、家族が作ってくれたお弁当を食べ、仲間とともに地域の先生から歴史と文化を学ぶ。教室ではできない、加子母でしか勉強することができない本日に貴重な一日になりました。

小 学校 ▶ 加子母小学校の4年生は、総合的な学習の時間に加子母の川や森など自然環境について学習しています。9月22日には、子供たちが森や木々に興味関心をもてるようにと、木匠塾の学生のみなさんがワークショップを計画してくださいました。まず、学校の隣にある「学びの森」で、木についてのクイズやゲームをしました。木の種類や木にまつわる様々な問題に答えたり、木に触れたり匂いを確かめたりしながら楽しみました。学校に戻り、たくさんの木のピースにヤスリをかけた。そのピースを使った「き・つ・つき」というゲームは、子供たちも大盛り上がりで遊ぶことができました。大学生のお兄さん、お姉さんと一緒に身近な森や木について学び、いっぱい遊んでもらい、楽しい時間を過ごすことができました。子供たちのすぐそばにある自然ですが、意識を向けることは意外と少ないのかもしれない。今回のワークショップを通して、加子母の森や木をより身近に感じ、主体的に関わろうとする子が増え、今後の学習への意欲が高まったと感じています。

こ ども園 ▶ 9月30日は加子母こども園の運動会でした。新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、今年は祖父母の方や来賓の皆さまにもご観覧いただくことができました。残暑が厳しく暑い日でしたが、子ども達も最後までがんばりました。毎日の練習を重ねる中で、小さい子と手を繋ぎ一緒に行進する姿や、友だちを応援する姿、また負けて悔しくて泣いている子に「大丈夫だよ」と寄り添う姿がみられ、体はもちろん心も成長している様子が伝わってきました。年長組はこども園最後の運動会ということもあり、係の仕事や任された責任を持って役割を果たそうとする姿や、走ったり跳ったりする真剣な表情に感動する場面も多かったです。保護者競技も復活し、お父さん・お母さんの綱引きは大迫力でした。綱を一生懸命引っ張る様子に子ども達も大喜びで応援しました! 前日から当日の準備や片付け、道具の出し入れなど保護者会の皆さまにたくさんご協力いただき、無事に運動会を終えることが出来ました。

乳幼児 ▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんば感染症拡大防止対応の「くるりんば開放日」を設けています。



11月の行事予定

【お願い】新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になることがあります。下記予定も変更等される場合がありますので、ご承知おきください。

1	水	【こども園】連れ去り防止(たんぼぼ班) 【中学校】3年生保護者向け進路説明会(19:30~)
2	木	【こども園】バス遠足
3	金	文化の日
4	土	【こども園】家族参観
5	日	
6	月	【こども園】幼稚園コース振替休日
7	火	
8	水	
9	木	【こども園】避難訓練 【小学校】1年生生活科見学・4年生社会科見学
10	金	【こども園】七五三交流会、内科検診
11	土	
12	日	大型ごみ(9~13)
13	月	【こども園】身体測定、食育指導(年長)
14	火	
15	水	6か月児・1歳児相談(付知会場) ↑ 受付時間は個別で案内します 【中学校】市指定研究発表会 【中学校】東濃地区へき地・複式教育研究大会
16	木	BCG予防接種(午後~福岡会場) ※要予約
17	金	【中学校】第2回歯科検診(9:30~)
18	土	
19	日	軽トラ朝市・野菜品評会(9~道の駅第2駐車場) 不燃・硬質・資源ごみ(16~17) 【こども園】連合会ソフトバレー大会
20	月	
21	火	
22	水	区長会(14:30~加子母総合事務所2階) 3歳児健診(午後~福岡会場) 【こども園】誕生日会
23	木	勤労感謝の日
24	金	【小・中学校】振替休業日
25	土	
26	日	加子母教育の日(14~)
27	月	
28	火	【こども園】焼き芋(雨天延期) 【中学校】3年生進路懇談会
29	水	【小学校】不審者対応訓練 【中学校】3年生進路懇談会
30	木	【中学校】3年生進路懇談会

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

大切!!『ゴミ出しのルール』守って

・ゴミを出すときは、『ごみの出し方ガイドブック』をよく見て出すこと。

・必ず、自分の地区の収集場所へ出すこと。

《どうしてか?》

各区のゴミ収集場所は、区長、班長、住みよい環境づくり推進委員が管理や掃除をしているが、【〇ゴミが分別されていないのでゴミ袋が回収されない。〇大型ゴミなのに不燃ゴミ袋で出している。〇違う地区の人が、通りがかりにゴミを出して行く。】など、各区でその後の管理に支障をきたしているからです。

※『ゴミ出しのルール』必ず守って下さい



市の広報に関するアンケートにご協力ください

市では、広報なかつがわ読者・市ホームページ閲覧者の皆さんの声を反映して、さらにわかりやすく、また、知りたい情報を届けるメディアへと改善していくため、アンケートを行なっています。

回答期限 12月31日(日)

ご回答はこちらのQRコードから➡



問合せ先 中津川市役所 広報広聴課

(☎0573-66-1111 内線315)

図書室だより

【11月おすすめ図書】

■縁切り上等! 離婚弁護士松岡紬の事件ファイル (著 新川帆立)

夫の言動に耐えられなくなった聡美は、子供を連れ実家のある北鎌倉に逃げ帰る。そこで出会ったのは、縁切りで名高い「東衛寺」の娘で弁護士の松岡紬。勢い込んで紬に離婚相談をした聡美だったが、思いがけないことを言われ…。

■90歳、ひとり暮らしの知恵袋 お金をかけない素敵な毎日の過ごし方(著 大崎博子)

1か月を10万円ちょっとでやりくりしている90歳の著者が、自身の心がけている暮らしのコツと工夫を紹介した1冊。節約の知恵や、デジタル生活の知恵など、今あるもので幸せに暮らす“おひとりさま”の生活術を多数掲載する。

■のせのせせーの!(文 斉藤倫 うきまる 絵 くのまり)

人生に迷った東大生が「自分の時間を生きる」ことを決意!メキシコでタコス屋になり、ブラジルでサッカークラブの広報、そして、ネイマール選手の通訳など、“世の中を放浪”しながら自分に合った幸せの形を見つけていく自伝的痛快エッセイ!!



加子母の人口と世帯数(令和5年10月1日現在) 世帯数:946世帯 男:1,200人 女:1,237人 計:2,437人